

---

2019 年度 修士学位審査請求論文

中国語・日本語母語話者の人間関係から見た「ほめ」の傾向  
—聞き手が目上の場合を中心に—

LI Dongli

7213170008-4

立命館大学大学院言語教育情報研究科

2019 年度

---

## 要旨

本論文は、中国語母語話者・日本語母語話者が目上に使うほめ方を調査し、分析したものである。今回の調査で、ほめ対象として設定したものは「外見」「服装」などを含めた「外面的なもの」と「才能」や「専門」「行動」といった「内面的なもの」、合計8種類である。外面的なものにおいて、中国語母語話者と日本語母語話者とも最もほめることがおおいのが「家族」であった。一方、内面的なものに関しては目上である相手の身分によって異なる結果が出るということがわかった。

ほめ方について、母語話者それぞれの特徴も観察された。中国語母語話者は相手をほめる際に複数のほめ方を使う傾向がある。評価に伴って、質問したり自分自身に言及したりする。日本語母語話者の場合、1つの方法を用いる傾向がありながら、相手を評価する印象を弱めるために工夫する点が特徴である。

キーワード: ほめ表現、目上、待遇表現、ほめ方

---

目次

1. はじめに.....	1
2. 先行研究.....	1
2.1 ほめ表現の定義.....	1
2.2 ほめ表現のストラテジー.....	2
2.2.1「形式ほめ」と「実質ほめ」.....	2
2.2.2「明示ほめ」と「暗示ほめ」.....	3
2.4 目上に対するほめ表現のあり方.....	5
2.4.1 日本語母語話者の目上に対するほめ表現のあり方.....	5
2.4.2 中国語母語話者の目上に対するほめ表現のあり方.....	6
2.5 先行研究に残された課題.....	7
3. 調査概要.....	7
3.1 考察の手順.....	7
3.2 結果の予想.....	9
4. 中国語母語話者・日本語母語話者の調査結果.....	10
4.1 親近感と社会的関係.....	10
4.2 ほめの対象における傾斜.....	12
4.3 ほめのストラテジー.....	14
4.4 家族や能力、行動について.....	20
5. 各対象のほめの傾向.....	23
5.1 外面的なもの.....	23
5.2 内面的なもの.....	25
6. おわりに.....	25
6.1 まとめ.....	25
6.2 今後の課題.....	26
参照文献.....	27

---

## 1. はじめに

円滑な会話を発展させるためには、相手あるいは相手のことを肯定したり理解したりすることが必要だと考えられる。ほめ表現は相手や相手に関連することに賛成したり好感を伝えたりする表現のなかでよく使われている。大野(2003)によれば、相手が目上であっても、方法や表現形式の工夫によって「肯定的評価」や「好感情」の伝達が可能となる。しかし、目下から目上に対するほめる行為を論じる研究はまだ少ない。

本研究では8つのシチュエーションを設定し、中国語母語話者と日本語母語話者を対象に、目上である相手をほめようとする際にそれぞれどのような傾向があるか明らかにする。

## 2. 先行研究

ほめ表現に関して多くの研究がなされており、異なる視点で「ほめ」を分析することが可能になっている。この章では、3つの視点からほめ表現に関する先行研究を紹介する。具体的には、「意図による分類」「表現の仕方」「対象」という内容からの分析を紹介する。

### 2.1 ほめ表現の定義

世間に広く知られているほめの定義は以下のとおりである。『現代漢語詞典』第3版によると、「称赞」は「用语言表达对人或事物的优点的喜爱。(人あるいは物事の良さに対する好感情を言葉で表すこと)」という意味である。一方、『広辞苑』では「①祝う、ことほぐ。②物事を評価し、よしとしてその気持ちを表す。たたえる。賞賛する」であるという。また、『大辞林』第3版では、次のような解釈があった。「『ほめる』という動詞は、目上の人に対しては用いることができない。それに対して『たたえる』は文章語的で、ある人が社会的に見て好ましいことをした場合に、目上にも目下にも使えるが、自分の家庭内の人には使いにくい。「ほめる」と「たたえる」の使い分けが存在するが、語用論において、葉(2014)は「(『ほめ』は)目上から目下に対して『ほめる』行為と目下から目上に対して『たたえる』行為の両方を含んでいるように思われる」と述べた。

また、「ほめ」の定義について研究者によって異なる部分があるが、相手のことを認めた上で明示的、あるいは暗示的に肯定的な評価を与えるという点では共通している。ここでは大野(2007)と金(2012)による定義を紹介したい。大野(2007)は「相手自身、あるいは相手に関連する『よい』と認めうるものごとについて、明示的あるいは暗示的に肯定的評価を与えることによって、相手への好感情を表す言語行動」と定義した。金(2012)は「『ほめ』は、話し手が聞き手を心地よくさせることを意図し、聞き手に関わりのある人、物、ことに関して「良い」と認める様々なものに対して、直接或

---

は間接的に、肯定的な価値があると伝える言語行動である」と述べている。一方、中国において「ほめ」を明確に定義したのは劉(2011)である。「称赞言语行为是日常生活中常见的言语交际形式,是说话人对他人、尤指听话人所具有的某种双方认可的优勢,如外貌、人品性格,所有物以及才能成就等,直接或间接地进行积极评价的言语行为。(ほめという言語行為は日常生活でよく見られる言語的コミュニケーションであり、話し手はある人、特に聞き手の持つ特長、例えば外見、性格、所有物や才能などを直接に、あるいは間接的で積極的に評価する言語行為である。)」と劉(2011)は定義している。

## 2.2 ほめ表現のストラテジー

次に「ほめ」の分類を紹介したい。2.1 で述べたように、相手のことをほめようとする際には、明示的或は暗示的に肯定な評価を与えることが求められる。すなわち、ある表現は常に「明示ほめ」「暗示ほめ」のどちらかに属している。そして、表現主体が相手をほめようとする際に、どのような意図を抱いているか。話し手の「表現意図」からほめを分類することもできる。

### 2.2.1 「形式ほめ」と「実質ほめ」

ほめ表現はその意図によって「形式ほめ」と「実質ほめ」に分類することができる。

大野(2003)は「純粹に、相手に対する肯定評価の伝達を行おうとするもの」を「実質ほめ」と見なし、「『ほめ』の効果に重点を置き、その効果を期待して行おうとするもの」を「形式ほめ」と呼んだ。また、どのような「ほめ」が形式ほめとして印象を与えやすいのかについて、ほめ言葉とその応答の直前にある要素、すなわちほめ言葉に入る前の流れ(これから「先行要素」という)が関わっていると指摘した。以下の例は大野(2003)から引用した例である。

#### (1) 【「夏の庭」49 河辺家】

河辺、受話器をつかむと諄に押し付ける。

河辺「木山、おまえ電話しろ！(依頼) こういうのはおまえが一番うまい！」

#### (2) 【「大安に仏滅！？」33 最上階・展望レストラン】

文子「まあ、松井さん、本当に偉いわ。ねえ、写真よりずっと美人でしょ？」

松井「え、ええ」

真弓「(文子に)松井さん、困ってらっしゃるじゃない(当惑)」

---

松井「いや,ほんと,きれいで,正直,驚いてます」

例(1)は、木山に電話をさせるために河辺は「うまい」と言った。例(2)は、松井は真弓の当惑を感じ、「きれい」と言い出した。上記のように、先行要素は表現主体、相手あるいは第三者にとって望ましくない話題や依頼、またはマイナス要素などであれば、「形式ほめ」になりやすいと大野(2003)が指摘した。しかし、相手の利益のための「ハゲマシ」「アドバイス」の後に続くほめは「実質ほめ」と判断される可能性が高いという。大野(2003)の例を用いて説明する。

(3) 【「復活の朝」41 同・看護婦部長室(翌日)】

睡眠薬を常用している看護婦の新川に対して

松井「しばらく休養を取りなさい」

新川「そんな必要ありません」

松井「病人に病人の看護ができると思ってるの？」

新川「……」

松井「私はあなたのことを心配しているのよ。(相手利益)あなたはベテランだし,優秀な看護婦だし,率先して若い人たちの模範にならなきゃいけない立場じゃないの。(略)」

新川のことを心配しているという松井の発言は相手のための発言であり、一方例(1)では河辺の依頼は明白で、例(2)では真弓の発言から雰囲気悪さが感じられる。したがって例(1)と(2)は形式ほめと見なし、例(3)は実質ほめだと判断できる。以上の分析から、ほめの意図を判断するには先行要素が重要な役割を果たしていると考えられる。また、川口・蒲谷・坂本(1996)は「表現意図」「人間関係」などの面からほめ表現を考察した。川口・蒲谷・坂本(1996)によると、表現方法により目上への「実質ほめ」は可能である。

## 2.2.2 「明示ほめ」と「暗示ほめ」

ほめ表現の枠組みはおおよそ2つに分かれている。具体的には「明示ほめ」と「暗示ほめ」である。

あるほめ表現を「明示ほめ」か「暗示ほめ」に分類する方法に関して、大野(2007)は「明示的表現」は「いい」「かわいい」など評価語の含めた表現で、「暗示的表現」は「事実指摘」「羨望」「感謝」「激励」などの表現にあると述べた。

---

大野(2007)は暗示ほめが用いられる場合を分析した結果、表現主体がなにがしかのところで相手より目上であることを明らかにした。次の例(4)~(7)は大野(2007)から引用した「暗示ほめ」の例で、「聞蔵」(朝日新聞のデータベース)からの用例である。

(4) 【「思いっきり走ったリレー(小さな目・10月の月間賞)」】

(リレーで優勝した後、自分の走りについて)母が「さをつけたね」(事実指摘)とほめてくれた。

(5) 【「Jユースの面白さ知って(スポーツつれづれ草)」】

決勝戦を観戦した川淵三郎チェアマンも「Jリーグと比べてもそんな色のない正確で長いパスが目」に付いた。」が出来て六年、各クラブが若い選手を育ててくれてうれしい(感情)」とほめていた。

(6) 【「信じていたが番犬にならず(声)」】

(飼っている犬は)ピンポンと鳴ると、夫や私の顔を見てほえて知らせてくれるので、「お仕事ご苦労さん」(ねぎらい)とほめてやっている。

しかしこのような「暗示ほめ」は、目下から目上への場合(新聞記事ではなく、ドラマからの内容だが)でも見られる。上下関係を思わせるような直接評価を回避するため、「事実指摘」や「感謝」などの表現が用いられることが観察された。次の例(7)では、真弓の父親に対する発言には羨望、感謝の機能が含まれていて、肯定的な発言である。相手を気持ちよくさせている。

(7) 【「大安に仏滅!？」110 結婚披露パーティー】

真由(哲夫の娘)「私たち、お父さんとお母さんみたいな夫婦になりたいわ」

哲夫「え?俺たちなんか……」

真由「時々喧嘩はするけど、お互いに深く信頼し合ってる。私の理想の夫婦。私、二人の娘で本当に良かったと思ってる。本当よ」

しかし、表現する方法により、ほめ意図が誤解される可能性も考えられる。すなわち「ほめ」に近い言語行動、例えば「事実指摘」や「感謝」「羨望」などを使うことによって、相手が表現主体の意図を「事実指摘」などそのものと認識する場合もある。例(7)では、真弓の父親が真弓の発言を「羨望」「感謝」に理解することはなくもない。

---

## 2.3 「ほめ」の対象の分類

ほめ対象になるものは2種類に分けられる。1つは「外面的なもの」で、「外見」「持ち物」などのものである。2つ目は「内面的なもの」、例えば「専門」「行動」のようなものである。

大野(2009)は目上に対するほめ方について、日本語母語話者と日本語学習者を対象にしてアンケート調査を行なった。「専門」「持ち物」「家族」「行動」をめぐるほめ方を調べた。楊(2012)は「専門」「持ち物」「外見」「能力」に着目し、中国語母語話者を対象に、目上へのほめ方についてアンケート調査を行なった。この2つの調査で取り上げたほめ対象のうち、「専門」「持ち物」の2項目しか一致していない。しかし、ほめ方を追究するために、楊(2012)で取り上げた「外見」「能力」は大野(2009)でも論じる必要があったのではないかと考える。また、楊(2012)も大野(2009)にある「家族」「行動」を論じるべきだったと考えられる。したがって、以上の研究では、ほめ対象の項目はまだ不完全だと言える。目上へのほめ方をさらに追究するには、ほめ対象を充実し細分化する必要があると考えられる。また、その理由について2.5で説明する。

## 2.4 目上に対するほめ表現のあり方

日本では、目上に対するほめ方に関する研究はまだ少ない。また、中国で条件を統制してほめ表現を考察する論文もわずかである。目上に対するほめ方は、主に教員に対するほめ方に限られている。

### 2.4.1 日本語母語話者の目上に対するほめ表現のあり方

大野(2009)は目上を教員に設定し、学生の教員に対するほめ方を調べた。この調査では内面的な「専門」について、学習者より母語話者の方がよく自身や第三者に言及すると予測したが、実際には母語話者が相手に言及することが多かった。とは言っても、「評価」というイメージを回避するために、「和らげ」を多用する傾向が見られた。一方、ほめ対象を問わず学習者は複数の言い方を使っており、ほめの方法数が母語話者を上回っている。すなわち、言い方が母語話者より多様であった。次は大野(2009)にある、「授業(専門)」の調査結果である。

母語話者…面白い/面白かった(37)、分かりやすい/分かりやすかった(26)、いい/よかった(23)、  
ためになる/なった(13)、ありがとう(14)、興味深い(がわいた)(9)、楽しい/楽しめる(8)、素晴らしい(4)、好き(4)、勉強になる/なった(4)、有意義(2)



---

学習者…ありがとう(50)、いい/よかった(31)、面白い/面白かった(31)、分かりやすい/分かりやすかった(20)、勉強になる/なった(20)、楽しい/楽しめる(15)、理解できる/理解しやすい(10)、おかげ(8)、好き(8)、素晴らしい(8)、役に立つ/立った(7)、興味深い(がわいた)(6)、お疲れ様(3)、関心(2)、詳しい(2)、解ける(2)、簡単(2)(1例→いきいき、活気)

※括弧にある数字は使用数である。

学習者の方法数が母語話者より上回っている原因としては、学習者は「評価」のイメージを回避する意識がないか、母語に影響される状況が考えられる。また、学習者は「全体的に『ほめ』を強調しながら積極的に行っていたと言える」と大野(2009)は述べている。

2.3で述べたように、大野(2009)の研究ではほめ対象を充実する必要があると考えられる。また、目上であっても、学校の教員もいれば、会社の上司やアルバイト先の先輩などもある。そのため、目上との社会的関係や場面が変われば表現の仕方も変わる可能性がある。

#### 2.4.2 中国語母語話者の目上に対するほめ表現のあり方

甘・石(2016)は語用論の視点から、中国人日本語学習者が先生の授業をほめる方法について分析した。「先生の授業はよかったですね」は「ユー・メッセージ」であるため、相手は抵抗を感じさせる可能性がある。その代わり、「アイ・メッセージ」の「先生の授業、ありがとうございました」は受け入れやすい。

楊(2012)は大野(2009)と同じく目上を教員に設定し、中国語母語話者のほめ方について調査を行なった。親疎・利害関係にかかわらず、どのほめ対象でも先生に関する言及が最も多い。その中には、先生の能力に対して「老师, 好厉害(先生、すごいですね)」のような直接的評価があり、専門に対して「老师, 还有机会再上您的课吗(先生、あなたの授業はまた受けられますか)」といった情報を求めるような発言もあった。また、先生の外見に対して「老师的发型好酷啊(先生のヘアスタイルはクールですね)」という学生の発言に関して、楊(2012)は「現実的で客観的な事実」と判断したが、納得できなかった。「短くなった」「明るくなった」というような髪の色や長さなどに関する発言は客観的な事実になるが、「クール」などの言い方は明らかに個人の主観的判断である。

また、楊(2012)の調査では、目上との親疎・利害関係に焦点をあて、母語話者のほめ方について調査を行なった。ほめ対象の項目は内面的な「専門」「能力」があって、「持ち物」「外見」という外面的なものもある。しかし、2.5で述べたようにほめ対象はこれ以上あるはずである。ほめ主体について、問題は、大野(2009)と同じで、ほめ対象を教員だけに絞った点にある。

---

## 2.5 先行研究で残された課題

以上で示した先行研究にあるいくつかの問題をまとめると、次のようになる。一つは中日対照研究の形でほめを取り上げる研究はまだ少ない。また、楊(2012)、大野(2009)は中国語・日本語の母語話者を対象に目上に使うほめ表現を調査したが、不完全なところが二点あると考えている。1) 楊(2012)、大野(2009)の研究では、目上である学校の教員に対するほめ方を調査したが、生活で接する目上の人には教員だけではない。目上との社会的関係や場面が変われば、ほめ方も場に応じて変わると考える。2) ほめ対象になるものは「外面的なもの」と「内面的なもの」の2種類に分けられるが網羅的ではない。楊(2012)、大野(2009)の研究で論じた「専門」「持ち物」「家族」「行動」「外見」「能力」以外にも、「服装」「作品」などのほめ対象も日常生活でよく使われる。したがって、ほめ対象を統制し、細分化する必要があると考えられる。

## 3. 調査概要

### 3.1 考察の手順

調査方法: アンケート調査。

腾讯问卷、Google form のアンケート機能を用いて調査を行う。設問は複雑ではないため、インターネットでの自由記述は可能だと考える。また、この方法であれば、面接調査で生じる回答の誘導も避けることができると考えられる。

調査対象: 男女両方を含めた中国語母語話者(英語を除き、外国語ができない方)と日本語母語話者(英語を除き、外国語ができない方)。

外国語を学ぶことは人の話し方に影響を与えられ、母語話者のほめ方を調査するために、外国語の影響をできるだけ避けたいと考えた。調査人数は中国語母語話者 166 名、日本語母語話者 72 名である。

調査期間: 2019年 5 月～6 月。

調査内容: 「身体部分」「衣類」「持ち物」「家族・ペット」「作品」「才能」「専門」「性格・行動」の要素が含まれるシチュエーションを作り、目上である人に対してのほめ方について質問した。

目上の設定について、日本語母語話者向けの調査票では目上をアルバイト先の先輩と学校の教員にしたが、中国語母語話者向けの調査票では、「アルバイト先」を「インターンシップ先」に変えた。中国国内にいる学生で、実際にアルバイトをしている学生は少ないようである。「先輩」を意

識するような環境は、アルバイトよりインターンシップの方が当てはまる。インターンシップが日本の「アルバイト」に状況が近いと感じる。中国のインターンシップは学校教育の一環として、大学4回生の時に学生たちが必ず参加する活動である。この場合では、指導をしてくれる先輩がいると考えられる。この場合では、指導してくれる先輩がいると考えられる。したがって、「アルバイト先」より「インターンシップ先」の方が連想しやすく質問に答えやすいと思われる。

調査票の内容は以下の通りである。

表1 先輩へのほめ方アンケート

アルバイト先の先輩		
<p>新しいアルバイトを始めたばかりのあなたは、とあるミスで、お客様からクレームを受けました。あなたの新人指導を担当している先輩はそれを解決してくれました。そして、これから一緒に帰る予定です。</p> <p>あなたは先輩に対して、下記の事柄についてほめようとする場合、どのような言い方をしますか。実際にあなたが言えるような内容を書いてください(同じ場面で複数の言い方がある場合、思いつくものを全て書いてください)。また、言えないと判断する場合は、「言えない」と書いてください。</p>		
1	男性先輩の顔や体型、身長について	女性先輩の顔や体型、身長について
2	男性先輩のヒゲについて	女性先輩のネイルについて
3	男性先輩の私服について	女性先輩の私服について
4	男性先輩のバッグについて	女性先輩のバッグについて
5	男性先輩の手編みのマフラーについて	女性先輩の手編みのマフラーについて
6	男性の先輩の家族と出会って、そのひとについて	女性先輩の家族と出会って、そのひとについて
7	クレームを解決してくれたことについて	クレームを解決してくれたことについて
8	仕事の教え方について	仕事の教え方について

※中国語母語話者向けのアンケートは、調査対象が連想しやすいため「アルバイト先の先輩」を「インターンシップ先の先輩」に変更した。

表2 教員へのほめ方アンケート

学校の先生		
<p>先日の雨の日に、あなたは傘を家に忘れていました。その時、あなたの授業を担当している先生から傘を貸してもらいました。その後、傘を返すために、その教員の研究室を訪ねました。</p> <p>あなたは先生に対して、下記の事柄についてほめようとする場合、どのような言い方をしますか。実際にあなたが言えるような内容を書いてください(同じ場面で複数の言い方がある場合、思いつくものを全て書いてください)。また、言えないと判断する場合は、「言えない」と書いてください。</p>		
1	男性先生の顔や体型、身長について	女性先生の顔や体型、身長について
2	男性先生のヒゲについて	女性先生のネイルについて
3	男性先生の服装について	女性先生の服装について
4	男性先生のバッグについて	女性先生のバッグについて
5	男性先生が撮った旅行先の写真について	女性先生が撮った旅行先の写真について
6	男性の先生に見せられたペットを抱いている子供の写真	女性の先生に見せられたペットを抱いている子供の写真
7	先日傘を貸してもらったことについて	先日傘を貸してもらったことについて
8	男性先生の授業について	女性先生の授業について

### 3.2 結果の予想

アンケート調査を行う前に、結果について推測した。

- ① 中国語母語話者・日本語母語話者は学校の教員よりアルバイト・インターンシップ先の先輩に対して明示ほめが多く使われる傾向が現れると予想される。
- ② 中国語母語話者の場合、明示ほめが暗示ほめを伴って出現すると考える。暗示ほめは、明示ほめを説明するために生じる発言で、相手に実質ほめだと思わせる手段である。
- ③ 日本語母語話者の場合、ほめ対象において、「外面的なもの」は相手に言及しやすく、「内面的なもの」は自分に言及する傾向があると考えられる。

目上との社会的関係や場面が変われば表現の仕方も変わると思われる。したがって、目上である相手が先輩から教員に変わる場合、ほめ主体による相手への配慮も変わってくる。そのような変化はほめ表現にも直接反映し、予想①の結果になると推測した。予想②と③は日常の会話を観察した上で推測したもので、今回の調査で検証する。

## 4. 中国語母語話者・日本語母語話者の調査結果

### 4.1 親近感と社会的関係

回収したアンケート合計は 238 部である。そのうち中国語母語話者から回収したものは 166 部で、男性から回収したものは 99 部で、女性から回収したものは 67 部である。有効と判断された回答は 114 部で、そのうち男性から回収したものは 71 部、女性から回収したものは 43 部である。日本語母語話者から回収したものは 72 部で、全て有効と判断された。男性から回収したものは 37 部で、女性から回収したものは 35 部である。

また、次の基準を満たす場合、有効回答と判断した。1)「ほめ・ほめない(称赞・不称赞)」の回答欄を空欄にしている場合、2) 具体的なほめ言葉を用いて答える場合(例えば「男性先輩の私服についてほめる」という質問に対して「黒」と答える場合は無効と判断される)。

「自分より親しいと思う方(先輩・先生)を選んでください」という質問に対する回答をまとめたものが表 3-4 である。合計から見れば、学校の先生がより親しいと思う人が多いと言える。

表 3 「自分より親しいと思う相手」の中国語母語話者の回答

親近感	男性	女性	合計
先輩	31	19	50
先生	40	24	64

(有効回答数だけ表示されている)

表 4 「自分より親しいと思う相手」の日本語母語話者の回答

親近感	男性	女性	合計
先輩	18	15	33
先生	19	20	39

表 3-4 から、インターンシップ先・アルバイト先の先輩より学校の先生に対して親近感を感じることがわかる。これはインターンシップあるいはアルバイトの期間が短く、授業に出る時間が長いため、先生に対する親近感が生じやすいなどの原因が考えられる。しかし、親近感以外にほめに影響するもう 1 つの条件が考えられる。以下の表 5 から表 8 に示す結果は社会的関係の影響が現れている。

表5 インターンシップ先の先輩に対して「ほめない」と答えた中国語母語話者の人数・割合

中国語母語話者	外見	ヒゲ・ネイル	私服	バッグ	手編みマフラー	家族	クレーム解決	仕事の指導
男性先輩	41 (36%)	56 (49%)	41 (36%)	43 (38%)	47 (41%)	29 (25%)	11 (10%)	18 (16%)
女性先輩	33 (29%)	39 (34%)	36 (32%)	31 (27%)	35 (31%)	28 (25%)	11 (10%)	17 (15%)

表6 アルバイト先の先輩に対して「ほめない」と答えた日本語母語話者の人数・割合

日本語母語話者	外見	ヒゲ・ネイル	私服	バッグ	手編みマフラー	家族	クレーム解決	仕事の指導
男性先輩	29 (40%)	27 (38%)	16 (22%)	18 (25%)	22 (31%)	6 (8%)	0	0
女性先輩	28 (39%)	28 (39%)	14 (19%)	22 (31%)	22 (31%)	6 (8%)	0	0

表7 学校の教員に対して「ほめない」と答えた中国語母語話者の人数・割合

中国語母語話者	外見	ヒゲ・ネイル	服装	バッグ	写真	子供とペット	傘を貸す	授業
男性教員	60 (53%)	71 (62%)	55 (48%)	65 (57%)	30 (26%)	18 (16%)	23 (20%)	33 (29%)
女性教員	55 (48%)	60 (53%)	48 (42%)	55 (48%)	27 (24%)	17 (15%)	24 (21%)	32 (28%)

表8 学校の教員に対して「ほめない」と答えた日本語母語話者の人数・割合

日本語母語話者	外見	ヒゲ・ネイル	服装	バッグ	写真	子供とペット	傘を貸す	授業
男性教員	61 (85%)	28 (39%)	52 (72%)	23 (32%)	10 (14%)	11 (15%)	0	21 (29%)
女性教員	60 (83%)	23 (32%)	51 (71%)	30 (42%)	10 (14%)	11 (15%)	0	21 (29%)

表 5、6 と表 7、8 を比べると以下のことがわかる。先生とより親しいと感じるものの、先生に対してほめ表現を使うことが少ないと言える。特に「外見」「ヒゲ・ネイル」「服装」「バッグ」といった外面的なものに対してほめる行為を避ける傾向が見られる。中国語母語話者の場合では「外見」「ヒゲ・ネイル」「服装」「バッグ」を「ほめない」と答えた人数は有効回答の約半数を占めている。日本語母語話者の回答から、特に先生の外見や服装に言及することを回避する傾向がわかる。一方、親近感の低い先輩に対して、「クレーム解決(行動)」や「仕事の指導(専門)」といった内面的なものはもちろん、外面的なものを積極的にほめる傾向が現れた。したがって、親近感より社会的関係がほめる行為に影響を与えたと考えられる。なお、今回の調査で、先輩に親近感を持つ人の割合が低いという結果が出たが、先輩をほめる人の割合が教員より高い。したがって、相手との距離を縮める手段としてほめ表現の使用が期待されると推測できる。

#### 4.2 ほめの対象における傾斜

先輩をほめる際に、ほめの対象ごとに「ほめる」と答えた人数を示したものが表 9-10 である。表 9 は中国語母語話者による回答に対応し、表 10 は日本語母語話者の回答に対応する。ほめると答えた人数が多い順にほめの対象を並べたものをそれぞれの表の下に示す。

表 9 インターンシップ先の先輩に対して「ほめる」と答えた中国語母語話者の人数・割合

中国語母語話者	外見	ヒゲ・ネイル	私服	バッグ	手編みマフラー	家族	クレーム解決	仕事の指導
男性先輩	56 (49%)	46 (40%)	59 (52%)	55 (48%)	50 (44%)	78 (68%)	102 (89%)	96 (84%)
女性先輩	67 (59%)	60 (53%)	63 (55%)	69 (61%)	62 (54%)	79 (69%)	102 (89%)	97 (85%)

男性先輩:クレーム解決>仕事の指導>家族>私服>外見>バッグ>手編みマフラー>ヒゲ

女性先輩:クレーム解決>仕事の指導>家族>バッグ>外見>私服>手編みマフラー>ネイル

表 10 アルバイト先の先輩に対して「ほめる」と答えた日本語母語話者の人数・割合

日本語母語話者	外見	ヒゲ・ネイル	私服	バッグ	手編みマフラー	家族	クレーム解決	仕事の指導
男性先輩	43 (60%)	45 (62%)	56 (78%)	54 (75%)	50 (69%)	66 (92%)	72 (100%)	72 (100%)
女性先輩	44 (61%)	44 (61%)	58 (81%)	50 (69%)	50 (69%)	66 (92%)	72 (100%)	72 (100%)

男性先輩:クレーム解決、仕事の指導>家族>私服>バッグ>手編みマフラー>ヒゲ>外見

女性先輩:クレーム解決、仕事の指導>家族>私服>バッグ、手編みマフラー>ネイル、外見

目上の性別に関わらず最もほめられたものはクレーム解決、つまり内面的な「行動」である。そして「専門」に対応する「仕事の指導」について、ほめる人数も圧倒的に多かった。外面的なものの中で「家族」をほめる人数が一番多いが、ほめ対象と直接関係のある「外見」や「衣類」などをほめないようにしている人の割合は高い。また、同じく内面的なもの、「才能」に対応する「手編みのマフラー」をほめる人数は「クレーム解決」「仕事の指導」と比べて少ないのは明らかである。「クレーム解決」と「仕事の指導」は自分と直接的な関係があるが、「手編みのマフラー」とは直接的な関係がないため「ほめない」と答えた人数が増えたのだと考えられる。したがって、自分との関係の有無はほめる行為に影響するひとつの要因だと考えられる。

学校の先生に対するほめの対象別の傾向をまとめたものが、表 11-12 である。

表 11 学校の教員に対して「ほめる」と答えた中国語母語話者の人数・割合

中国語母語話者	外見	ヒゲ・ネイル	服装	バッグ	写真	子供とペット	傘を貸す	授業
男性教員	32 (53%)	31 (27%)	46 (40%)	34 (30%)	78 (68%)	93 (82%)	74 (65%)	80 (78%)
女性教員	42 (37%)	42 (37%)	53 (46%)	44 (39%)	80 (70%)	95 (83%)	76 (67%)	81 (71%)

男性教員:子供とペット>授業>写真>傘を貸すこと>服装>バッグ>外見>ヒゲ

女性教員:子供とペット>授業>写真>傘を貸すこと>服装>バッグ>外見、ネイル



表 12 学校の教員に対して「ほめる」と答えた日本語母語話者の人数・割合

日本語母語話者	外見	ヒゲ・ネイル	服装	バッグ	写真	子供とペット	傘を貸す	授業
男性教員	11 (15%)	44 (61%)	20 (28%)	49 (68%)	62 (86%)	61 (85%)	72 (100%)	51 (61%)
女性教員	12 (17%)	49 (68%)	21 (29%)	42 (58%)	62 (86%)	61 (85%)	72 (100%)	51 (61%)

男性教員:傘を貸すこと>写真>子供とペット>授業>バッグ>ヒゲ>服装>外見

女性教員:傘を貸すこと>写真>子供とペット>授業>ネイル>バッグ>服装>外見

表 11 と表 12 で示したように、多少人数の差があるが、目上の性別に関わらずほめる行為を行う傾向が一致している。中国語母語話者の場合では「子供とペット(家族)」について、ほめる回答が最も多い。すでに述べたように、ほめ主体は「子供とペット(家族)」と直接の関係がないため、他の内容よりほめやすいと思われる。続いて「専門」「才能」「行動」に対応する「授業」「写真」「傘を貸すこと」をほめる人数も多く、それらの差もわずかであった。「授業」「傘を貸すこと」はほめ主体と直接関係している側面があるゆえ、表現主体はほめようとする。「才能」に対応する「写真」に関しては 4.4 で分析する。日本語母語話者の場合、「傘を貸すこと」について全員がほめると答えた。また、外面的なものにおいて「子供とペット」の割合が高いという点は中国語母語話者と一致している。

### 4.3 ほめのストラテジー

2.2 で述べたように、相手のことをほめようとする際には、その発言は明示ほめあるいは暗示ほめのいずれになる。また、言及する人間(聞き手の場合もあれば第三者の場合もある)が誰であるかによってその人をほめる方法が変わり、評価語の含むほめ表現になったり事実指摘や羨望などの形になったりする。ほめを実現するために、ここでは中国語母語話者・日本語母語話者はそれぞれどのような方法を用いるかについて論じる。しかし、表現主体は一つの質問に対して必ずしも一種類の方法を使うことに限らない。

大野(2009)を参考にほめ方法の回答を分類したものを以下に示す。各方法に対応するほめ方をアンケートの回答を用いて説明する。

- ① 評価:評価語を用いてほめる内容を「評価」に分類する。

【c.38】先輩真帅气。

(先輩とてもかっこいいです)

- 
- ② 相手事実:評価語が含まれているが、ほめ対象が実際に行った行動についてほめる場合「相手事実」に分類する。

【c.53】深入浅出。

(難しい内容を分かりやすい言葉で説明しました)

- ③ ほめ主体事実:話し手自身に言及する表現である。実際にほめ主体事実が経験したあるいは思ったことを「ほめ主体事実」に分類する。

【c.69】学到了很多。

(たくさん勉強になりました)

- ④ 感情:話し手の気持ちや思いを表現する内容である。

【c.91】我也想去那里玩一玩了。

(私もあそこに行きたくなってきました)

- ⑤ 羨望:「欲しい」「羨ましい」などの表現が含まれた内容である。

【c.44】老师你好高啊,真羡慕。

(先生の背が高くて羨ましいです)

- ⑥ 意志:話し手が決心などの意思を表現する内容である。

【c.78】感谢您的帮助,我一定会努力的。

(助けてくださってありがとうございます、きっと頑張ります)

- ⑦ 感謝:有り難さを込めてほめる場合である。

【c.50】十分感谢。

(本当にありがとうございます)

- ⑧ 第三者言及:話し手と聞き手以外の他人を手段としてほめる際に「第三者言及」に分類することにした。

【c.160】老师您讲的内容通俗易懂,而且风趣幽默,我们所有同学都喜欢上你的课。

(先生が教えた内容は分かりやすく面白いです、みんながあなたの授業が好きです)

- ⑨ 質問:何かについて聞き手に質問をする。

【c.83】您自己织的么,好厉害。

(ご自身で編みましたか、すごいです)

- ⑩ 労い:相手の頑張りなど感謝を表すほめ表現を「労い」に分類する。

【c.49】真是麻烦你了。

(ご迷惑をお掛けしました)

⑪ その他:以上の内容に分類することができない表現を「その他」に分類する。

以上の基準で今回のアンケートの回答を分類した。ほめ方法の出現数は以下である。

表 13 中国語母語話者のほめ表現のストラテジー・先輩

	評価	相手 事実	ほめ 主体 事実	感情	羨望	意志	感謝	第三者に 言及	質問	労い	その他
外見	94	11	3	3	1	1		2	21		
ヒゲ・ ネイル	87	6	2		2	1		2	22		
私服	105	5	2		1	1		2	8		
バッグ	109	10	1		1				10		
手編 みマ フラー	87	7	1	1	3	2			26		
家族	118	1	1					15	4		12
クレー ム解 決	69	18	43	1		19	118	1	1	3	7
仕事 の指 導	38	26	43	7		15	97	2		3	7

表 14 中国語母語話者のほめ表現のストラテジー・教員

	評価	相手 事実	ほめ 主体 事実	感情	羨 望	意 志	感謝	第三 者に 言及	質 問	労 い	そ の 他
外見	66	7	1		2				4		
ヒゲ・ ネイル	66	4	1						4		
服装	79	16			1				5		2
バッグ	61	7		1	1				8		
写真	118	11	4	5	4				28		5
子供と ペット	165	15	2	3					11		
傘を 貸すこ と	16	5	20	1		1	121		3	2	7
授業	83	58	32				3	13	2		

8つのシチュエーションにおいて、評価が一番使われているが、中には例外も見られた。インターンシップ先の先輩の場合では、外見や私服、持ち物などに対して、質問のような関心を表す表現が多く見られた。例えば先輩のネイルについて「どこでやりましたか」と情報を求める。このような手段を用いて相手をほめれば、発言の信憑性が高くなると考えられる。さらに質問することによって、焦点が質問の内容に移り変わり、会話がさらに進むと推測できる。また、相手の行動、専門に対応するクレーム解決や仕事の指導について言及しなければいけない場合では、感謝の手段が最も使われた。

【c.64】多谢前辈平时对我的工作的帮助, 没有前辈我的好多错误自己都发现不了呢!

(いつも仕事を手伝ってくれてありがとうございます、先輩がいなければ自分のミスに気づくわけがありません)

上の例のような、感謝を伴った評価、相手事実やほめ主体事実、複数の方法を用いて気持ちを表す回答も多数あった。

---

相手が学校の教員の場合、インターンシップ先の先輩と較べて評価の使用は控え目である。前の節で述べたように、親近感を感じるものの社会的関係でほめ主体がほめる行為を避ける場合がある。行動に対応する傘を貸すことについて、感謝で相手をほめる回答が最も多かった。その中に以下の例がある。

【c.69】真的非常感谢, 如果不是您我就淋惨了。

(本当にありがとうございます、先生がいないと大変なことになります)

上の例のように、ほめ主体に言及する傾向も見られた。一段とバリエーションが見られたのは授業に関する回答である。評価のほか、相手事実やほめ主体事実、第三者言及の出現も大きな割合を占めている。

先輩と教員いずれに対しても、家族に関する評価を使う傾向が見られる。まず教員の場合、聞き手が先生で、子供とペットが話題の人物である。目上の人や家族はほめ主体が直接対峙している相手ではないため、ほめ主体との関係性が薄く、評価を与えやすい。「先輩の家族と出会って、その人についてほめる」はほかの項目より特殊である。回答者の中で誰に対して語りかけるかに関して回答が別れている。話者が先輩に語りかける状況では、「家族」は先輩をほめる手段になり、話題の人物になる。この場合、先輩の家族は語りかける対象ではないため、評価が使われやすい。一方、先輩ではなく先輩の家族に語りかける言葉を回答した回答者もいる。この場合、語りかけの対象である先輩の家族がほめ対象の人間になる。そして、ほめ主体は先輩の家族との接触は少なく、ほかのほめ対象より外見からほめることが容易い。また、「外見」をほめる際に評価語と結びつきやすいため、評価の使用数が増えたと考えられる。

表 15 日本語母語話者のほめ表現のストラテジー・先輩

	評 価	相手 事実	ほめ主 体事実	感 情	羨 望	意 志	感 謝	第三者 に言及	質 問	労 い	その 他
外見	82	1	1		10				4		
ヒゲ・ネ イル	88	11							2		
私服	64	38	1	1	3				3		
バッグ	89	12	7						3		
手編み マフラー	88	14			3				18		1
家族	65		67	1	4						
クレーム 解決	5	32	20	2		11	130			7	
仕事の 指導	30	54	40	6		8	67				

表 16 日本語母語話者のほめ表現のストラテジー・教員

	評 価	相手 事実	ほめ主 体事実	感 情	羨 望	意 志	感 謝	第三者 に言及	質 問	労 い	その 他
外見	23	1			5	1					
ヒゲ・ネ イル	86	5							2		
服装	32	8			3						
バッグ	77	13	5						5		
写真	88			4	6				40		
子供と ペット	96	8		8					12		
傘を貸 すこと	6		68			2	138		3		
授業	54	8	46	2			15	2			

自分と直接関係のある「クレーム解決」「傘を貸すこと」以外で、日本語母語話者の回答で最も使われた方法は評価である。しかし、評価語を用いるものの、言い切るような回答は少ない。回答の殆どは j.4 のように評価語の後に「ね」をつける傾向が見られた。

【j.4】綺麗なお化粧ですね。

ほめ方法の出現数から見ると、外面的なものをほめる際に評価が最も使われやすいと考えられる。しかしこの方法は目上である相手の社会的地位に影響されやすいとも思われる。先生の外見について、中国語母語話者より日本語母語話者はさらにほめる行為を回避する現象が観察された。外見のほめは評価と結び付きやすいために回避したと考える。しかし、「ヒゲ・ネイル」は顔と手の延長と考えられるが、アルバイト先の先輩と学校の先生にかかわらず、日本語母語話者は積極的にほめている。すなわち、ほめやすいと考えられる。

【j.8】(外見について)笑顔可愛いですね。

【j.46】誰からの手編みですか。

また上記の例のように、単一の方法で相手をほめる特徴がある。

#### 4.4 家族や能力、行動について

---

今回はインターンシップの先輩、学校の教員の「家族」「能力」「行動」「専門」のほめ方について調査を行ったが、先輩と教員で異なる設定にした項目がある。先輩の場合では「家族」を特定していなかった。それに対して教員の方は「子供とペット」と詳しく指示した。能力はそれぞれ「手編みのマフラー」「写真」とし、専門と行動は目上の立場や役職と関わりのある内容に設定した。このように設定した理由は、同じ分類に属しても内容によって異なる回答や結果になるかどうかを検証するためである。

① 家族

家族の誰をほめるか特定しない先輩の場合では、家族を両親、配偶者や子供などに想定する回答と、家族という集団をほめる回答の両方があった。また、相手を特定していなため、発話によって聞き手も変わってくる。

【先輩に対して】

【c.29】您的妻子好年轻哦。

(先輩の奥さんお若いです)

【j.18】優しいご家族ですね。

【家族に対して】

【c.93】叔，气色挺好啊。

(おじさん、顔色は優れています)

【c.19】叔叔好，我上次遇到的麻烦多亏了学长帮忙才解决了。他真的富有经验，热心助人。想必肯定是您教导的。

(おじさんこんにちは、この間トラブルがあって、先輩のおかげで解決が出来ました。彼は経験豊かで熱心な人ですが、きっとおじさんの教育のおかげでしょう。)

【j.7】いつも遅しくて頼りになる先輩で、大変お世話になっています。

しかし、上記のようにどの相手に対し発言しても、ほめは成立する。j.7では先輩の家族をほめているが、先輩のことを間接的にほめていると考えられる。

中国語母語話者の回答では先輩の家族に対して「年轻(若い)」「精神(元気)」など相手の外見を直接ほめるような回答が多く見られた。一方、日本語母語話者の回答は「優



---

しい」「楽しい」「素敵」など、雰囲気を表現するような言葉を使う特徴がある。教員の子供とペットに「可愛い」を使う頻度がかかなり高いという点は、日本語母語話者と中国語母語話者が共通している。さらに「子供とペット」が両方ともいる場合、ペットより子供をほめる傾向が見られた。また、写真であるため、家族より目上の撮影技術をほめる人もいた。

## ② 能力

先輩の場合、マフラーを編む技術をほめる他にマフラーそのものについて言及する傾向が見られた。「围巾非常漂亮(とても素敵なマフラーです)」「マフラーあったかそうですね」とマフラー自体をほめることによって相手の技術をほめることができる。

4.2 のデータからマフラーを編むことより撮影技術をほめる回答数が上回っていることがわかった。その原因は次のように推測できる。写真を見る際に人の能力と結びつきやすいが、マフラーは能力と結び付きにくいかもしれない。マフラー自体は「服装」に分類することができるため、「手編み」という能力を強調する言葉を加えても服装の一部と考えられる。今回の調査では、「手編みマフラー」をほめる回答数は「外見」「私服」と差がなかった。つまり、マフラーは目上が身に着けるものであるため、ほめ主体はそれを避けようとしていると考えられる。

## ③ 行動

クレーム解決の件と傘を貸すことについて、使う方法の傾向が基本的に一致しているが、先輩の行動についてだけ評価を使う回答が多くみられた。以下は例である。

**【c.35】**今天真的非常感谢前辈帮忙，前辈太厉害了。

(今日手伝ってくれて本当にありがとうございます、先輩は本当にすごいです)

**【j.3】**ありがとうございました、おかげで濡れずに帰れました。

一方教員の場合では、j.3 のようにほめ主体自身に言及する回答が多いが、目上を評価する表現がかかなり減ってきた。原因は立場による社会的距離だと考えられる。つまり、目上の相手が教員の際に他の方法があれば評価という方法を避けようとする事に対して、相手が先輩の場合では配慮する度合いは低くなり、評価するようになると推測した。

- 
- ④ 専門:仕事の指導と授業の回答を比較すると大きな違いが見られる。中国語母語話者の回答から、先輩の場合、後輩の仕事を指導することは相手の主な仕事ではないため、「感謝」を用いてほめると相手が受け入れやすいと考えられる。一方授業は教員の仕事であるため、相手に言及しがちである。しかしその割に、回答者は自分に言及したり、相手の行動について話したりして、相手が受け止めるように発言している。

【c.52】我觉得老师讲课非常好,能跟上节奏,很容易就听进去了  
(先生の授業はとても良いと思います、ついて行けますし、理解しやすい)

例えば上記の回答では、先生の授業が良いと評価した上で自分自身に言及し、良いと思った理由を述べている。単純に専門を評価するよりは説得力があると考えられる。

日本語母語話者の回答は、先輩である目上の行動に言及、つまり「相手事実」を用いてほめる傾向が見られた。j.52で説明すれば、「丁寧に教える」と先輩の行動を強調してほめ行為を行なっている。一方、先生の授業をほめる際に、評価を使いながら自分自身に言及する傾向は中国語母語話者と共通している。

【j.52】丁寧に教えてくださってありがとうございます。

【j.33】いつもわかりやすく、毎週楽しみにしています。

## 5. 各対象のほめの傾向

今回の調査では、外面的なものに関しては、中国語母語話者と日本語母語話者の回答は共通している点がある。一方、内面的なものについてほめる際に大きな違いが見られた。中国語母語話者は、相手に自分が目上であることを意識させながら発言する特徴があるが、日本語母語話者は、相手の身分を配慮しながら発言する傾向がある。

### 5.1 外面的なもの

外見に関しては、中国語母語話者は相手が男性の場合、体型に焦点を与えている。「身材真好(スタイルがいい)」を含めた回答が多く見られた。目上が女性の場合、スタイルや顔、気質など、男性よりバリエーションが見られた。一方、日本語母語話者は、目上の相手が男性の場合身長に言及しやすい、女性の場合スタイルをほめる傾向が見られた。また、目上が先輩の場合、ほめると答

---

えた人数は中国語母語話者と日本語母語話者の両方とも半数を超えたが、相手が先生になるとほめると答える回答数が大いに減少した。特に日本語母語話者は8割以上「言えない」と答えた。

ヒゲについてほめると答えた中国語母語話者は約3割でかなり少ないと言える。ほめると答えた回答中では、「性感(色気がある)」と相手の雰囲気をはめる回答があったが、日本語母語話者の回答では見当たらない。一方日本語母語話者は中国語母語話者よりほめると答える人数は多く、約6割を占めている。回答の中に「男らしい」「ワイルド」「オシャレ」といった言葉がよく使われていることがわかった。

ネイルについて、中国語母語話者と日本語母語話者ともほめる人数は半数を超えた。また評価を用いてほめるところも共通しているが、中国語母語話者は「指甲好好看,在哪儿做的(ネイル綺麗です、どこで作ったのですか)(c. 27)」のような質問を加える回答が多い。日本語母語話者は「綺麗ですね、自分で塗ったんですか(j.58)」と相手の技術に話題を移る傾向がある。

服装に関しては中国語母語話者と日本語母語話者は先輩の私服について積極的にほめているが、目上が教員の場合ほめると答えた回答数は半分以下に下回っている。また、ほめると答えた回答に「似合う」という言い方は中国語母語話者と日本語母語話者の両方でも観察された。異なる点は、日本語母語話者が「私服だとイメージ変わりますね(j.3)」と相手の変化に言及するが、中国語母語話者の回答でそのような言い方がなかったことである。

目上が先生の場合、私服よりバッグをはめる傾向が見られたが、先輩の場合はその逆である。したがって、相手を配慮する度合いが高いほど相手の身から離れていることをほめる傾向が強いと見える。逆に、相手を配慮する度合いが低ければ、より相手に近いことをほめて距離感を縮めると考えられる。

家族に関しては、今回の調査では出会った家族と家族の写真両方を調査した。回答数から見れば、写真の方がよりほめやすいと考えられる。中国語母語話者と日本語母語話者は子供とペットの写真をはめる際に「可愛い」という言葉を使って答えた人数が8割で、外面的なものにおいて、言葉の選択がもっとも一致している。

また、出会った家族をはめる場合では、日本語母語話者の回答を2種類に分類することができる。1つはj.18のように評価語を用いて家族をはめる回答で、もう1つは家族に向けて先輩にお世話になったことを言及する回答である。それに対して中国語母語話者は家族を「叔叔(おじさん)」「阿姨(おばさん)」などに特定した上でほめる傾向がある。それにより、さらに回答のバリエーションが見られる。

---

## 5.2 内面的なもの

才能については、手編みのマフラーより写真をほめると回答する人が多かった。中国語母語話者は相手の動作、つまり技術に言及する傾向が強い。「老师你拍的照片真美, 看了照片后, 我也想去那里玩一玩了(先生が撮った写真はとても綺麗です。この写真を見ると、遊びに行きたくなります)(c.91)」と、先生の行動を強調している。一方日本語母語話者は相手の行動に言及することを回避し、「素敵な写真ですね(j.45)」「どうやって撮りましたか(j.33)」と写真自体をほめる、あるいは撮り方に質問するようにしている。

手編みのマフラーについては、中国語母語話者も日本語母語話者も相手の技術に言及する傾向がある。中国語母語話者は相手と関係なくほめ方を統一していると思われる。一方、相手が先輩であるからこそ、日本語母語話者は「手先器用ですね(c.38)」と相手の技術に直接言及する傾向がある。

行動に関してはクレームの解決と傘を貸すことは最も回答者自身と関係しているゆえ、その行動をほめる割合がかなり高い。特に傘を貸すことに対して、感謝しながら自分に言及するような回答は中国語母語話者、日本語母語話者の回答のどちらでも高い割合を占めている。しかし、クレーム解決の件について、中国語母語話者は相手の経験や動作について言及する傾向が見られた。「前辈能力出色, 经验丰富(先輩の能力は素晴らしくて、経験も豊かです)(c.81)」というような回答は日本語母語話者の回答では見当たらなかった。

専門については、中国語母語話者と日本語母語話者の回答はそれぞれ特徴がある。中国語母語話者の回答は感謝を表す表現が多いが、相手の行動に言及する内容が少ない。しかし、日本語母語話者の回答では「具体的」「丁寧」などの言葉の出現率が高い。明示的表現でありながら、相手の行動に言及することによって、評価するイメージを弱めると考えられる。

内面的なものに関しては、授業をほめる中国語母語話者の人数が一番多いが、日本語母語話者はその逆である。また、日本語母語話者が自分に言及する割合は中国語母語話者より高いが、評価語が含まれた回答の割合は中国語母語話者より少ない。このような結果になったのは、中国語母語話者にとって相手の専門を肯定する必要があると推論する。一方、日本語母語話者はほめる際に、相手の社会的地位が重要な要素としてほめ主体の発言に影響を与えている。

## 6. おわりに

### 6.1 まとめ

---

本研究では中国語母語話者と日本語母語話者による目上に対するほめのあり方を調べた。家庭内や会社などにおいて、目上はどこにでも存在する。今まで目上に関するほめの研究は教員を対象とするものしかなかったが、今回の調査ではほめ対象を増やして比較した。目上であるほめ対象をインターンシップ・アルバイト先の先輩と学校の教員に設定し調査した結果、調査対象は教員により親近感を抱くものの、ほめ行為を避ける傾向が見られた。一方、親しくない先輩に対して積極的にほめている。目上である相手をほめる際に、親近感より社会的関係がほめ主体の行動に影響することが分かった。

また、「外見」「服装」「持ち物」「家族」といった外面的なもの、「行動」「専門」「才能」といった内面的なものをほめの対象とする8つのシチュエーションを作った。外面的なものの中では「家族」をほめる人が一番多かった。「行動」「専門」「才能」について、中国語母語話者は相手を問わず積極的にほめているのに対して、日本語母語話者は目上の社会的地位によりほめ行為を調整している。特に「専門」について、日本語母語話者全員が先輩の「仕事の指導」をほめると答えたが、先生の「授業」をほめると答えた人数は内面的なものに関して最も少なかった。

ほめ方について、母語話者それぞれの特徴が観察された。中国語母語話者は相手をほめる際に複数の方法を使う傾向が見られたが、日本語母語話者は単一の方法を用いて相手をほめることがほとんどである。また、日本語母語話者は相手を評価する印象を弱めるために工夫しているが、中国語母語話者の回答からこのような配慮が見えなかった。

## 6.2 今後の課題

今回の調査で目上の性別ごとに設問したが、回答から明らかな性差が見えなかった。この結果になったのは、相手が目上であるため、ほめ方が制限されるためと推測できる。また外見について「顔、体型、身長」と指示を出したが、調査対象がそれを受けて答えた可能性もあり、指示された対象以外のものをほめる回答が少なかった。今回の経験を踏まえて、今度は目下や社会的地位が平等な人をほめ対象に性差について調査したいと考えている。

---

## 参考文献

- 大野敬代(2003)「『形式ほめ』の条件について：シナリオ談話における先行要素の調査から」『早稲田大学大学院教育学研究科紀要 別冊』11(1). 179-188.
- 大野敬代(2007)「『ほめ意図表現』の枠組みと機能」『早稲田日本語研究』16. 109-120.
- 大野敬代(2009)「日本語母語話者と学習者の目上への『ほめ』のあり方—アンケート調査の結果からみえる両者の配慮」『早稲田日本語研究』18. 60-71.
- 甘能清・石剛(2016)「語用論から見た『ほめ発話』効果：『アイ・メッセージほめ』と『ユー・メッセージほめ』を中心に」『成蹊大学一般研究報告』50. 1-13.
- 川口義一・蒲谷宏・坂本恵(1996)「待遇表現としてのほめ」『日本語学』15(4). 13-22.
- 金庚芬(2012)『日本語と韓国語の「ほめ」に関する対照研究』ひつじ書房.
- 楊一林(2012)「中国人話者の目上への『ほめ』行動について：中国人大学生を調査対象として」『金沢大学経済学類社会言語学演習』7. 39-52.
- 葉永会(2014)「先行研究における『ほめ』の扱いについて」『言語と文明：論集』12. 161-167.
- 劉梅(2011)「汉语称赞言语行为研究」曲阜师范大学修士論文.

---

## 謝辞

この論文の執筆にあたり、ご助援を頂いた方々に厚く感謝申し上げます。テーマを構想する段階から論文の作成まで、指導教官の佐々木冠教授から貴重なご意見とご指導を頂いたことに甚大なる感謝を表したい。また、副査の野澤和典教授にご助言を頂いた。深く感謝申し上げます。そして、ゼミメンバーとアンケート調査に協力してくださった方々に心から感謝する。彼らの協力によりこの研究を形にすることができた。

---

附録:

中国語母語話者向けアンケート

对长辈称赞方式的调查

此调查问卷将对称赞方式进行提问。面的前辈·老师进行称赞的提问项目中有些许不同之处，请多加留意。

1. 您的性别  
○男性 ○女性
2. 您的年龄
3. 以下哪方在现实生活中更让你感到亲近  
○实习地的前辈 ○学校的老师

实习地的前辈

假设在实习期间，因为你的某个失误受到了客人的投诉。但指导你工作的前辈解决了这个问题，此后你们约好之后一起回家。在回家的路上，你会使用下列哪些内容来称赞前辈呢？请具体写出你实际上会使用的表达方式(例:前辈的衣服真好看呀，是在哪里买的?)如果有不止一种说法的情况，请全部写出来。此外，如果存在实际上不会称赞的内容，请回答“不称赞”。问题涉及男女性别，但若两方回答并无差异，可写”同上“作答。

4. 男性前辈的脸、体型或身高

5. 女性前辈的脸、体型或身高

6. 男性前辈的胡子

7. 女性前辈的美甲

8. 男性前辈的私服

9. 女性前辈的私服



---

10. 男性前辈的包

11. 女性前辈的包

12. 男性前辈的手织围巾

13. 女性前辈的手织围巾

14. 偶遇男性前辈的家人, 对前辈家人的称赞

15. 偶遇女性前辈的家人, 对前辈家人的称赞

16. 对于男性前辈帮忙解决投诉的事进行称赞

17. 对于女性前辈帮忙解决投诉的事进行称赞

18. 对男性前辈平日工作上的指导进行称赞

19. 对女性前辈平日工作上的指导进行称赞

---

学校的老师

假设在前几日的雨天,你因为将雨伞忘在了家中,于是你的任课教师将自己的雨伞借给了你。几日后你来到该教师的办公室,打算把雨伞还给他。在办公室,你会使用下列哪些内容来称赞该教师呢?请具体写出你实际会使用的表达方式(例:老师您的小孩真可爱)如果有不止一种说法的情况,请全部写下来。此外,如果存在实际上不会称赞的内容,请回答“不称赞”。问题涉及男女性别,但若两方回答并无差异,可写“同上”作答。

20. 男性老师的脸、体型或身高

21. 女性老师的脸、体型或身高

22. 男性老师的胡子

23. 女性老师的美甲

24. 男性老师的服装

25. 女性老师的服装

26. 男性老师的包

27. 女性老师的包

28. 男性老师所拍的旅行的照片

29. 女性老师所拍的旅行的照片

30. 男性老师给你看了他的小孩抱着宠物时所拍的照片

---

31. 女性老师给你看了她的小孩抱着宠物时所拍的照片

32. 对于男性老师借伞这件事

33. 对于女性老师借伞这件事

34. 称赞男性老师的授课内容

35. 称赞女性老师的授课内容

---

日本語母語話者向けアンケート

目上へのほめのあり方

目上に対するほめ方について質問します。また、目上である先輩、先生の性別により、質問が異なる場合もありますのでご注意ください。

1. あなたの性別は以下のどちらですか  
○男性 ○女性
2. あなたの年齢を教えてください
3. 自分とより親しいと思う方を選んでください  
○アルバイト先の先輩 ○学校の先生

アルバイト先の先輩

新しいアルバイトを始めたばかりのあなたは、とあるミスで、お客様からクレームを受けました。あなたの新人指導を担当している先輩はそれを解決してくれました。そして、これから一緒に帰る予定です。あなたは先輩に対して、下記の事柄についてほめようとする場合、どのような言い方をしますか(例えば、「ネイルは可愛いですね」のような言い方など)。実際にあなたが言えるような内容を書いてください(同じ場面で複数の言い方がある場合、思いつくものを全て書いてください)。また、言えないと判断する場合は、「言えない」と書いてください。相手が男性の場合と女性の場合で同じ表現を使う場合は、相手が女性の場合の記入欄に「同上」と記入して下さい。

4. 先輩の顔や体型、身長について(先輩が男性の場合)

5. 先輩の顔や体型、身長について(先輩が女性の場合)

6. 先輩のヒゲについて(先輩が男性の場合)

7. 先輩のネイルについて(先輩が女性の場合)

8. 先輩の私服について(先輩が男性の場合)

9. 先輩の私服について(先輩が女性の場合)

---

10. 先輩のバッグについて(先輩が男性の場合)

11. 先輩のバッグについて(先輩が女性の場合)

12. 先輩の手編みのマフラーについて(先輩が男性の場合)

13. 先輩の手編みのマフラーについて(先輩が女性の場合)

14. 先輩の家族と出会って、その人について(先輩が男性の場合)

15. 先輩の家族と出会って、その人について(先輩が女性の場合)

16. クレームを解決してくれたことについて(先輩が男性の場合)

17. クレームを解決してくれたことについて(先輩が女性の場合)

18. 仕事の教え方について(先輩が男性の場合)

19. 仕事の教え方について(先輩が女性の場合)

---

学校の先生

先日の雨の日に、あなたは傘を家に忘れていました。その時、あなたの授業を担当している先生から傘を貸してもらいました。その後、傘を返すために、その教員の研究室を訪ねました。あなたは先生に対して、下記の事柄についてほめようとする場合、どのような言い方をしますか(例えば、「ネイルは可愛いですね」のような言い方など)。実際にあなたが言えるような内容を書いてください(同じ場面で複数の言い方がある場合、思いつくものを全て書いてください)。また、言えないと判断する場合には、「言えない」と書いてください。相手が男性の場合と女性の場合で同じ表現を使う場合は、相手が女性の場合の記入欄に「同上」と記入して下さい。

20. 男先生の顔や体型、身長について(先生が男性の場合)

21. 先生の顔や体型、身長について(先生が女性の場合)

22. 先生のヒゲについて(先生が男性の場合)

23. 先生のネイルについて(先生が女性の場合)

24. 先生の服装について(先生が男性の場合)

25. 先生の服装について(先生が女性の場合)

26. 先生のバッグについて(先生が男性の場合)

27. 先生のバッグについて(先生が女性の場合)

28. 先生が撮った旅行先の写真について(先生が男性の場合)

29. 先生が撮った旅行先の写真について(先生が女性の場合)

---

30. 見せられたペットを抱いている子供の写真(先生が男性の場合)

31. 見せられたペットを抱いている子供の写真(先生が女性の場合)

32. 先日傘を貸してもらったことについて(先生が男性の場合)

33. 先日傘を貸してもらったことについて(先生が女性の場合)

34. 先生の授業について(先生が男性の場合)

35. 先生の授業について(先生が女性の場合)